

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力				
分野別方針	(2) 青少年の育成		実施計画事業	1) 青少年育成支援事業 (No.34)				
予算等事業名	子ども会活動支援事業							
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。							
内容	子ども達の健全育成のため、各種活動を通して、友情・協力・奉仕の精神を培い、心豊かに育つよう子ども会活動の支援に努める。							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	子ども野外研修の開催(7月20日～22日)、子ども会指導者・青少年指導員合同研修会(2回)の実施、子ども会事業への補助				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
前期(27年度)目標値					【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	子ども野外研修の参加者、子ども会加入率、事業の実施状況	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,204	2,831				
財源内訳	一般財源	2,161	1,856				
	国庫支出金						
	県支出金	193	300				
	その他	850	675				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 子ども会活動は地域活動を行う上で重要な活動であり、支援として公費投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	
	【説明】 町が行う部分(指導者研修)と委託(野外研修)、補助金(子ども会事業)とすみ分けしている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 子ども野外研修等による子どもの社会教育の場づくりとしては一定の成果があるといえる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 参加者に費用負担や材料を持参してもらうなど、極力経費を抑え運営している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 子ども野外研修では一定の成果があるといえるが、子ども会の加入率が減っているため、検討が必要。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・子ども会に入ると、役員が回ってくるので、加入したくないという保護者が多くなってきている。子ども会事業の在り方について検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	魅力ある子ども会とするために町が支援して行くことは必要である。		
今後の方向性	今後も継続していく。		